

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 News【第 1 号】

平成 16 年 11 月 24 日、平成 16 年度 第 1 回幾春別川ふるさとの川づくり懇談会を開催しました。



▲第 1 回 幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会の様子

平成 16 年度 第 1 回幾春別川ふるさとの川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

- ・ 日時:平成 16 年 11 月 24 日(水)
10:00~12:00
- ・ 場所:岩見沢コミュニティープラザ
多目的ホール B

当日は委員 11 名が出席しました。座長挨拶の後、平成 16 年度の第 1 回目ということで、昨年度の懇談会について概要説明がありました。

次いで、石狩川水系河川整備基本方針、石狩川流域委員会、幾春別川の地域活動についての情報提供がありました。

その後、各委員の方々による自由討議を行いました。また、副座長として幾春別川を良くする市民の会会長の嵯峨委員が選出されました。

第 1 回 幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 の主な発言から

第 1 回懇談会の主な発言をご紹介します。

治水について

- ・ 昔は何でも物を作ればよいという時代であったが、近年は少しでも自然に戻すという治水計画になってきていると思う。
- ・ 海面上昇の影響なども今後は検討する必要があるのでは。
- ・ 三位一体改革では、治水の重要性が忘れられるおそれがあり、危惧している。

地域活動について

- ・ 地域の活動が活発に行われているが、いつまでも同じ事をしていて良いのかという疑問がある。新たな活動を考える時期に来ていると思う。
- ・ カヌーを利用する人は、水位情報を見て活動している人も多い。週末の放流予定等を一般の人にもっと情報公開されるといいと思う。

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 委員

氏 名	所 属
岩館 正宣	空知森林管理署 治山課長
近江 利啓	(社)岩見沢青年会議所 理事長
嵯峨 義輝 (副座長)	幾春別川をよくする市民の会 会長
榊原 郁子	北海道教育大学岩見沢校 名誉教授
高篠 和憲	三笠の湖・川・緑を愛する会 会長
奈良 健二	空知管内商工会連合会 会長
深田 倫男	岩見沢市教育委員会 教育部長
宝沢 康晴	FM はまなす JAPAN 放送局 部長
眞野 弘	北海土地改良区 理事長
北山 一幸	三笠市 経済建設部 建設管理課長
菅原 重徳	北村 建設課長
吉田 攻司	岩見沢市 建設管理課長
増田 浩泰	札幌土木現業所 岩見沢出張所長
高橋 高吉	桂沢ダム管理所長
長平 英雄	幾春別川ダム建設事業所長
中村 英二 (座長)	岩見沢河川事務所長

利水について

- ・ 幾春別川は、農業用水や発電用水など利水としての利用が大きな役割をもっている河川である。
- ・ 農業の分野でも、米の生産高について、今までの収穫量のみ算出から自然環境への寄与についても加味しようという動きがあり、概念を転換する時期に来ている。
- ・ 水土里（みどり）ネットでは、畑作の生産性を高めるため5、6月の渇水期に地下水を利用した地下灌漑を試験的に実施している。
- ・ 幾春別川は、かんがいや発電等の影響で水量の変化が大きいのが特徴的な河川である。

環境について

- ・ 幾春別川を良くする市民の会が活動を継続してきた事で、川向頭首工にも魚道が整備されサケが遡上できるようになった。今後、人の手を加えずに自然産卵できる川になれば良いと思う。
- ・ 川向頭首工に魚道が設置された事により、サケが魚染の滝付近まで遡上しているかもしれない。奔別あたりには湧水もあるので、魚染の滝にスロープなどがつけば、サケが上流まで遡上出来るようになるのではないかと期待している。
- ・ サケの生育環境としては厳しい河川であると聞いている。サケよりもマスの方が適応力があり、幾春別川にはマスの方が適していると思う。
- ・ 幾春別川では、台風による風倒木は少なかったようである。

教育について

- ・ 水は生き物の発生源であるという概念を意識してもらう事が大事だと思う。
- ・ 子供たちの教育に川という素材をもっと活かせればよいと思う。
- ・ 学校教育が重要だと思う。こういった懇談会などで教育のあり方について議論しても良いと思う。
- ・ 幾春別川が利水として大きな役割をもっていることをもっと教育に生かすべきである。

その他

- ・ 河川を通じての学校教育や市民活動の役割は大事である。
- ・ 石狩川水系河川整備計画について石狩川開発建設部のHPで意見を募集していると思うので、河川モニターからの意見と合わせて公開して欲しい。
- ・ 川づくりばかりではなく、市町村合併、道州制等の問題を含めて考えていかななくてはならないと思う。北海道のあるべき姿について、こういった懇談会を通じて地方から発信していく事が大事だと思う。

事務局からのお知らせ

第2回の「懇談会」は公開で行い、どなたでも傍聴できます。開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

- ・ 三笠市、岩見沢市、北村、石狩川開発建設部、岩見沢河川事務所の掲示板

是非、ご来場ください。

ご意見やお問い合わせは、下記事務局
石狩川開発建設部 岩見沢河川事務所
〒068-0007 岩見沢市7条9丁目
TEL 0126(23)9555
FAX 0126(25)1697
まで、お気軽にお寄せください。